

事例

地域資源とマネジメント視点を活用した体験型環境食育の推進 ～食の環境負荷を低減し価値を高める食育～ (第6回食育活動表彰 農林水産大臣賞受賞)

NPO エコラボ (石川県)

NPO エコラボでは、食の生産・流通・保存・調理・廃棄に注目し、持続可能な社会の構築に貢献する食育を目指し、地域資源を活用した体験型の環境食育の活動を実施しています。地域での持続可能な食料システムの価値に注目し、地域の住民が生産から廃棄に至るまでの環境負荷低減に配慮した行動を実践できる食育が必要と考え、本活動が開始されました。

育てて食べる親子エコ農園は、五感にひびく食農体験として地域の農園と協働で実施し、体験の場を提供することで環境保全への意識の醸成を図っています。また、キッチンにおけるごみの発生抑制の取組として、在庫の把握、適量の購入・保存、献立の立て方、食品ロスを削減する調理等を学ぶ講座を開催し実践につなげています。そのほか、再生可能エネルギーの活用と被災時の食の確保を可能とするため、ソーラークッキングの体験講座、大学や地域防災組織との連携で、北陸で使いやすいフッカー開発と防災プログラムを開発しています。

これらの活動については、参加者に対してアンケートやヒアリングを実施し、参加者からは「野菜やお米を育てて食べる過程が大切だと思いました。」「普段できないとても楽しい経験でした。」「大人も子供も勉強になりました。」といった声が聞かれており、継続的な取組につなげています。

本活動の参加者が地域における食育の担い手として活動できるよう、人材育成も視野に入れた情報発信を行うとともに、引き続き、地元の米や野菜、地域の伝統食、自然環境等の地域資源を活用しながら、環境負荷の低減も目指す食育活動を拡大する予定です。



稲刈り体験の様子



ソーラークッキングの体験講座の様子